

がんばろう！東北

緊急情報／防災情報

平成23年4月8日16時30分
東北地方整備局

【防災情報】（記者発表）東北地方整備局地震災害情報（第61報）

国土交通省東北地方整備局は、平成23年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする地震が発生したため、災害対策本部（非常体制）を設置しました。

平成23年4月7日23時32分に宮城県沖を震源とする地震を含めた東北地方整備局の対応状況は次のとおりです。

1. 地震概要

発生日時：平成23年3月11日14時46分
震源：三陸沖
規模：マグニチュード9.0
地震名：「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」
大津波警報：青森県日本海沿岸（12日13:50津波注意報に切替、12日20:20に解除）
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県（12日20:20津波警報に切替、13日7:30津波注意報に切替、13日17:58解除）

※本地震に関する項目は、2～7

発生日時：平成23年4月7日23時32分
震源：宮城県沖
規模：マグニチュード7.4
津波警報：津波警報：宮城県（4月8日0:55解除）
津波注意報：青森県太平洋沿岸、岩手県、福島県、茨城県（4月8日0:55解除）

※本地震に関する項目は、8～9

2. 対応の状況

- ①リエゾンを派遣し、自治体との連絡を密にしています。岩手県庁、宮城県庁、福島県庁、15市7町2村（久慈市、野田村、田野畑村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市、塩釜市、七ヶ浜町、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、山元町、相馬市、いわき市）、陸上自衛隊に計68名を派遣しています。
- ②三陸沿岸都市等へのアクセスとなる15のルートが、太平洋沿岸に到達しています。
- ③15日より52箇所について、道路啓開及び応急復旧作業を実施しています。
- ④建設業協会連合会との協定に基づき、1,045チーム、10,090人、4,992台を投入しています。（数字は延べで記載）
（道路：665チーム、4,609人、機械2,074台）
（河川：380チーム、5,481人、機械2,918台）
- ⑤日本埋立浚渫協会等との協定に基づき、現在は船団を10港（八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港（仙台港区）、仙台塩釜港（塩釜港区）、相馬港、小名浜港）に投入し、航路啓開作業を実施しています。

- ⑥防災エキスパート（(社)東北建設協会）が、管内の9事務所及び自治体において災害対応の支援を実施しています。
（延べ1,222名、内自治体へのリエゾン329名）
- ⑦3/28から北上川（石巻市釜谷地区）で排水ポンプ車15台により排水を実施しています。

3. 4月8日の点検状況

【へりによる点検】

本日は、防災へり2機により宮城県内の河川・道路・港湾施設の点検と栗駒山系の土砂崩落箇所の点検を実施。

【現地での点検】

（河川関係）

- ・3月13日までに管理延長=1,322km全区間について点検終了。

（ダム関係）

- ・3月12日までに直轄15ダムにおいて二次点検完了。異常なし。

（砂防関係）

- ・3月12日までに最上川水系、赤川水系、阿武隈川水系、八幡平山系、栗駒山系56箇所全て点検完了。（積雪により点検不可な176箇所を除く）。

（海岸関係）

- ・3月17日までに、現地点検を終了。

（道路関係）

- ・国道6号（原発地域を除く）、45号の点検を継続。

（営繕関係）

- ・3月11日の地震で被害が大きかった庁舎等の安全性点検完了。
- ・今後、余震により新たな被害が確認された施設について安全性点検を実施。

4. 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の活動状況

TEC-FORCEは、4/7までに延べ3,639名が活動。

（被災状況調査）

- ・河川、道路、海岸、下水道、建築物の公共施設（要請のあった自治体施設含む）について、4/7までに延べ750班2,215名（3/13～4/7）を派遣し、被災状況調査を実施。本日は、海岸、橋梁、下水道、建築物の被害調査等を実施。
- ・港湾関係については、4/7までに延べ65班236名を投入。

（通信支援）

- ・衛星通信車、Ku-SATによる衛星通信路の確保、被災現場の映像伝送等の支援のため、4/7までに延べ393班453名（3/13～4/7）を派遣。

（応急対策）

- ・排水ポンプ車、照明車等による行方不明者の搜索活動及び早期復興への支援、浸水区域の排水計画検討等のため、4/7までに延べ377班735名（3/12～4/7）を派遣。

5. 被災情報及び復旧状況

【河川関係】

- ・5河川（阿武隈川・名取川・北上川・馬淵川、鳴瀬川）、1,009箇所（クラック、天端陥没、法崩れ、堤防沈下）

- ・堤防の流出や堤防の天端の沈下等が確認された箇所について随時緊急復旧工事に着手中。
- ・詳細は別紙－1（緊急復旧関係）のとおり
- ・詳細は別紙－2（河川関係）のとおり
- ・詳細は別紙－3（ダム関係）のとおり
- ・詳細は別紙－4（砂防関係）のとおり

【道路関係】

- ・全面通行止め：2路線17箇所（6, 45号）
- ・本線暫定開放：2路線2箇所（6, 45号）
- ・詳細は別紙－5のとおり

【港湾関係】

- ・9港湾（八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港、相馬港、小名浜港）にて防波堤損壊等を確認。
- ・詳細は別紙－6のとおり

【官庁施設】

- ・3月11日の地震で、127施設に被災を確認し、二次被害防止の安全対策等を指導済み。
- ・余震により、13施設で新たな被害発生。引き続き被害状況を確認。

6. 救援・輸送ルートの確保

（道路関係）

- ・宮城・岩手県の内陸部を結ぶ国道・主要地方道について、県から道路情報を収集中。
- ・**現時点で15ルートが使用可能…別紙-7**
- ・秋田・山形県を含めた東北全県からの協力業者・資機材の手配中。

（港湾関係）

- ・太平洋側10港については、係留施設が復旧し、一部施設による緊急物資輸送対応が可能となった。
- ・詳細は別紙-8のとおり

7. 県・自治体等への応援

- ・リエゾンを宮城県庁、岩手県庁、福島県庁ほか、各県の市町村を含め計68名を派遣。
- ・各県リエゾンの責任者には、応援内容を判断できる本局官クラスや事務所の事業対策官クラスを派遣。
- ・防災ヘリ画像の提供や照明車などの各県が不足している資機材を提供。
- ・石巻市から要望のあった給水車については現在稼働中。
- ・要請を受け、排水ポンプ78台、照明車45台、対策本部車9台、待機支援車14台、衛星通信車5台、Ku-SAT14台が移動及び稼働中。

8. 4月7日宮城県沖を震源とする地震に関する点検状況

【河川関係】

- ・直轄河川については、10事務所のうち4事務所で二次点検終了。
大きな被害はなし。残り6事務所は二次点検中。

【ダム関係】

- ・直轄ダム16ダムにおいて二次点検終了。異常なし。

【砂防関係】

- ・直轄砂防については、現地点検終了。異常なし。

【海岸関係】

- ・直轄海岸については、現地点検終了。新たな被害なし。

【道路関係】

- ・片側交互通行となっていた国道4号岩手県一関市の真柴こ線橋北側については、8日14:00に応急復旧が完了し、通行止め解除。
詳細は別紙-9のとおり

【港湾関係】

- ・8日6:00より点検開始した結果、昨日まで利用可能とした航路や岸壁について、支障がないことを確認。

【国営みちのく杜の湖畔公園】

- ・8日7:30より詳細点検を開始。その結果、新たな被害がないことを確認。

9. 4月7日宮城県沖を震源とする地震に関する被災状況

【河川関係】

- ・4河川（阿武隈川、名取川、北上川、鳴瀬川）40ヶ所（クラック等）
- ・詳細は別紙-10（河川関係）のとおり
- ・詳細は別紙-11（ダム関係）のとおり
- ・詳細は別紙-12（砂防関係）のとおり

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ先

東北地方整備局	TEL:022-225-2171(代)
[総括]	企画部長 川嶋 直樹 (内線3111)